国語
小学３年

SAMPLE

この本の使い方と特色

この本は、小学校三年生で学んだことがらを、短い期間でむりなく、そうごう的に学習できるように作られたものです。

■ **全体の構成**　漢字・ことばの問題と、物語・説明文・詩の読解問題とで構成されています。

■ **単元の構成**　一つの単元は、見開き完結。読解問題は、詩をのぞいて、一単元で一素材を学習するようになっています。漢字・ことばの単元では、三年生までに習う漢字やことばのきまりについての問題などを出題しています。

目　次

1 漢字(1) …… 2
2 漢字(2) …… 4
3 ことば(1) …… 6
4 ことば(2) …… 8
5 物語(1) …… 10
6 物語(2) …… 12
7 物語(3) …… 14
8 説明文(1) …… 16
9 説明文(2) …… 18
10 詩(1) …… 20
11 詩(2) …… 22

1 漢字(1)

■学習日 /

1 次の(1)〜(6)の漢字の、下のおくりがなに合う読み方を書きなさい。

1と**2**の問題にチャレンジして、同じ漢字のちがう読み方をおぼえよう！

□(1) 重
- い
- ねる

□(2) 細
- い
- かい

□(3) 苦
- い
- しい

□(4) 直
- る
- ちに

□(5) 負
- う
- ける

□(6) 生
- きる
- える

2 次の(1)〜(4)の漢字の、下のそれぞれの読み方をすることばを考えて、漢字で書きなさい。

□(1) 平
- ヘイ
- ビョウ

□(2) 作
- サ
- サク

□(3) 画
- ガ
- カク

□(4) 形
- ケイ
- ギョウ

SAMPLE

3 次の(1)～(4)の読み方をする漢字を、それぞれの文の意味をよく考えて、□に書きなさい。

3と**4**の問題にチャレンジして、同じ読み方をするちがう漢字をおぼえよう！

□(1)「ア（う）」
- 友だちと意見が□う。
- 友だちに本屋で□う。

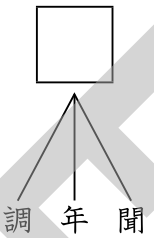
□(2)「オ（う）」
- せなかに荷物を□う。
- にげるはん人を□う。

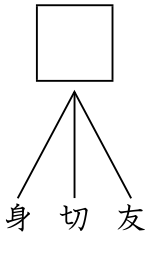
□(3)「ハナ（す）」
- 池にこいを□す。
- 母と楽しく□す。

□(4)「ハヤ（い）」
- 兄は走るのが□い。
- 朝起きるのが□い。

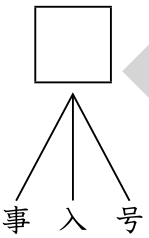
4 次の(1)～(4)の読み方をし、線で結ばれた漢字と合わさると、三つのことばを作ることができる漢字を□に書きなさい。

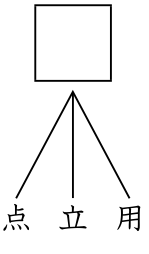
□(1)「シン」



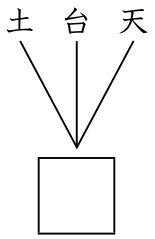


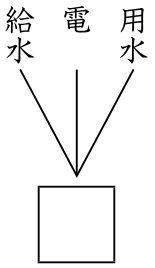
□(2)「キ」



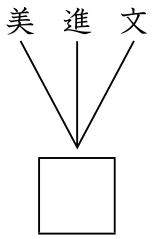


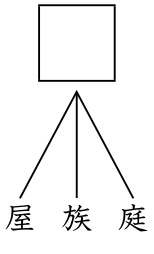
□(3)「チ」





□(4)「カ」





SAMPLE

2 漢字(2)

学習日 /

1 次の(1)～(15)の□に、上の漢字と反対の意味の漢字を書いて、漢字二字のことばを作りなさい。

(1) 強□
(2) 多□
(3) 男□
(4) 明□
(5) 苦□
(6) 左□
(7) 長□
(8) 勝□
(9) 前□
(10) 生□
(11) 終□
(12) 遠□
(13) 内□
(14) 天□
(15) 売□

2 次の(1)・(2)の組の文の――線部の漢字の意味としてふさわしいものを、それぞれあとから一つずつえらび、記号で答えなさい。

(1)
① 日に三度食事をする。
② 夏の日がてりつける。
③ 春になって、日が長くなる。

ア 太陽。
イ 昼間。
ウ 一日。

①	
②	
③	

(2)
① 重病にかかる。
② 体重をはかる。
③ 重箱にりょうりをつめる。

ア おもさ。
イ ひどい。はげしい。
ウ かさねる。かさなる。

①	
②	
③	

SAMPLE

3 次の(1)～(4)の漢字のでき方にあてはまるものを、それぞれあとからすべてえらび、書いて答えなさい。

□(1) 物の形からできたもの。

□(2) 形がないものを記号で表したもの。

□(3) すでにある漢字を組み合せて、べつの一つの意味を表したもの。

□(4) 意味を表す部分と、音を表す部分とを組み合せたもの。

板	木	岩
草	目	姉
鳴	馬	上
男	名	一

4 次の(1)～(7)のことばを漢字二字に直して書きなさい。また、その読み方を〔　〕に書きなさい。

□(1) しっているひと → （　　）〔　　〕

□(2) したしいともだち → （　　）〔　　〕

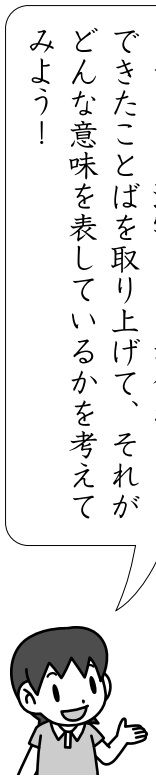
□(3) すんでいるところ → （　　）〔　　〕

□(4) ひとしくわける → （　　）〔　　〕

□(5) がっこうのもん → （　　）〔　　〕

□(6) あにとおとうと → （　　）〔　　〕

□(7) あねといもうと → （　　）〔　　〕



SAMPLE

3 ことば(1)

学習日 /

1 次のそれぞれの文の□に入るふさわしいことばを、あとから一つずつえらび、記号で答えなさい。

□(1) 兄は、□うそをついたりはしません。

□(2) □雨がふっても、遠足は行います。

□(3) □明日は雨がふるでしょう。

□(4) 妹の手は、□もみじの葉のようです。

□(5) □学校を休んだのですか？

ア まるで　イ けっして　ウ おそらく
エ どうして　オ たとえ

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

2 次の(1)～(4)のことばをつかって、文を考えて書きなさい。

□(1)「少しも」

□(2)「もしも」

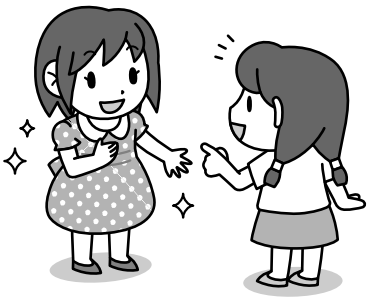
□(3)「たぶん」

□(4)「まさか」

SAMPLE

3 次の①～⑤の〔　〕に入るふさわしいことばを、左の表の中からえらび、書いて答えなさい。

もの 事がら	これ この	それ その	あれ あの	どれ どの
ここ				
そこ				
あそこ				
どこ				



SAMPLE

4 ことば(2)

学習日 /

1 **次の文章は、ことばのきまりについて説明（せつめい）したものです。これを読んで、あとの問題に答えなさい。**

・わたしは　ホットケーキを　作りました。

という文の、「わたしは」のように、「だれは」にあたることばを主語といいます。また、「作りました」のように、「どうする」にあたることばを述語（じゅつご）といいます。述語のしゅるいによって、文の形は、次の三つに分けることができます。

ア　何（だれ）が（は）―どうする〔ものの動作を表す〕。
例　わたしは雪だるまを作った。

イ　何（だれ）が（は）―どんなだ〔ものの様子を表す〕。
例　バラの花はきれいだ。

ウ　何（だれ）が（は）―何だ〔それが何かを表す〕。
例　ぼくの弟は一年生だ。

●〔れい〕のように、次の(1)～(6)の文から主語と述語を書きぬいて答え、文の形をア～ウの記号で答えなさい。

〔れい〕ぼくは　きのう　つりに　行った。

主語	述語	文の形
ぼくは	行った	ア

□(1)　ことしの　冬は　とても　寒い。

主語	述語	文の形

□(2)　わたしは　妹に　本を　あげた。

主語	述語	文の形

□(3)　あそこに　見える　星が　北極星（ほっきょくせい）です。

主語	述語	文の形

□(4)　とても　すっぱいね　この　みかんは。

主語	述語	文の形

□(5)　わたしの　すきな　くだものは　バナナです。

主語	述語	文の形

□(6)　ぼくは　きのう　田中くんと　公園で　遊んだ。

主語	述語	文の形

SAMPLE

2 次の文章は、ことばのきまりについて説明したものです。これを読んで、あとの問題に答えなさい。

・ぼくの　妹は　ななちゃんと　図書館に　行きました。

という文の、「ぼくの」「ななちゃんと」「図書館に」のように、主語や述語などをくわしく説明することばを修飾語（しゅうしょくご）といいます。また、

・ドアが　バタンと　しまった。
・せんたく物が　ゆらゆら　ゆれる。

という文の「バタンと」や「ゆらゆら」のように、声や音をそのまま表すことばや、様子や状態（じょうたい）の感じを表すことばも、くわしく説明する修飾語です。

● 次の(1)～(4)の文から修飾語を**二つ**ずつさがし、その右がわに――線を引きなさい。

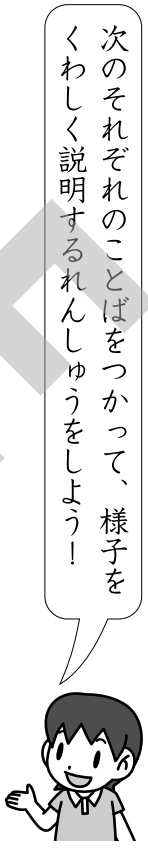
□(1) 白い　ねこが　魚を　食べる。

□(2) つめたい　風が　強く　ふく。

□(3) ぼくは　たかしくんに　マンガを　かりた。

□(4) 姉は　お年玉を　たくさん　もらいました。

3 次の(1)～(4)のことばを用いて、主語と述語のある文を考えて書きなさい。



□(1) ドシンと

□(2) パチパチ

□(3) ぽつんと

□(4) わいわい

SAMPLE